

公告 昭 36.5.2 出願 昭 33.12.26 実願 昭 33-68483

考 案 者 鈴 木 幸 三 郎 東京都板橋区大山町1
出 願 人 旭 光 学 工 業 株 式 有 限 公 司 東京都板橋区志村前野町980
代理人 弁 理 士 浜 野 金 三 郎 (全 2 頁)

天体望遠鏡の旋回角度微動装置に於ける転動軸の転位装置

図 面 の 略 解

図面は本実用新案を示すもので、第1図はその正面図、第2図は一部縦断した右側面図、第3図は水平微動部の横断平面図、第4図は可動軸の着脱装置の要部断面図を示す。

実 用 新 案 の 説 明

本実用新案は天体望遠鏡の旋回角度微動装置における伝動軸の転移を完全確実に作動させようとするものであつて本実用新案を図面について説明すると図中1は鏡筒取付ベース、2は仰角微動用扇形ウオームギヤ3は枢軸4は仰角微動可撓軸5は仰角作動用ウオーム6はウオーム支持メタル7は転移メタル8は転移ハンドル9は架台10は水平微動角ウオームギヤ11はその取付ビス、12は架台13は水平ウオーム14は水平ウオームメタル15は転移メタル16は水平微動軸17はバネケース18は鋼球19はばねを示すもので鏡筒取付ベース1を托架9の上部挟持溝9'内に枢軸3により挿入支持し仰角微動用扇形ウオームギヤ2を固設した枢軸3にて軸架する。

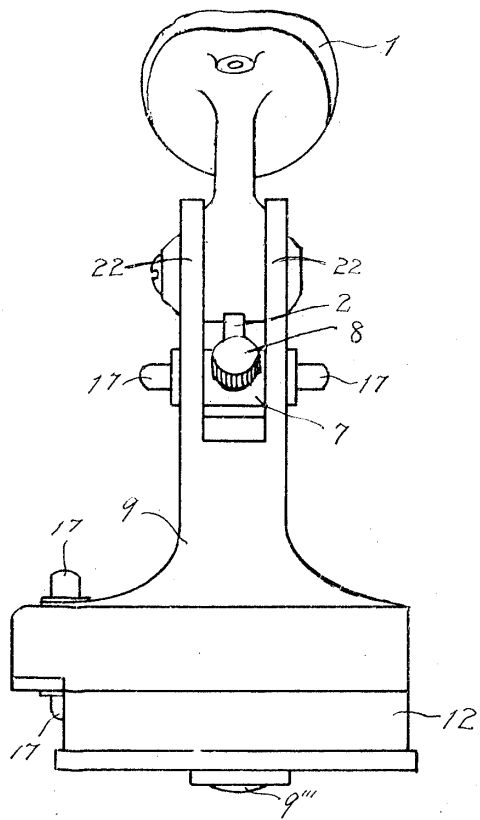
扇形ウオームギヤ2に嚙合するウオーム5を刻設した仰角微動用可撓軸4を仰角ウオーム支持用メタル6にて支持し可撓軸4の頭部には転移ハンドル8を装着して移転メタル7を上下係合自在に支持する、托架9の下部には膨出空室9''を形成し、水平微動用ウオームギヤ10を固設内装した架台12の中心に托架9の軸9'''を嵌挿して定着し水平微動用ウオームギヤ10には水平ウオームメタル14に軸支したウオーム13を転移メタル15

により係脱自在に臨設するもので、転移メタル7も転移メタル15も同様に立方体のブロックより成り両側に凹溝20, 20, 21, 21を並列に凹設し挟持杆22の両側の窓孔22'に連設したバネケース17内のばね19により突設された鋼球18を収容支持して凹溝20, 20と係合してウオームギヤ2又は10と離脱して位置を確保し更に転移メタル7又は15を上動すれば鋼球18, 18はばね19により凹陷退避するも再び凹溝21, 21にそれぞれ嵌合定置されてウオームギヤとの係合を保持するもので転移ハンドル8又は水平微動軸の揺動により自在にウオームギヤに係脱転移させることが出来る極めて迅速に転動軸の切換をなし得る転移装置として実用上有効な考案である。

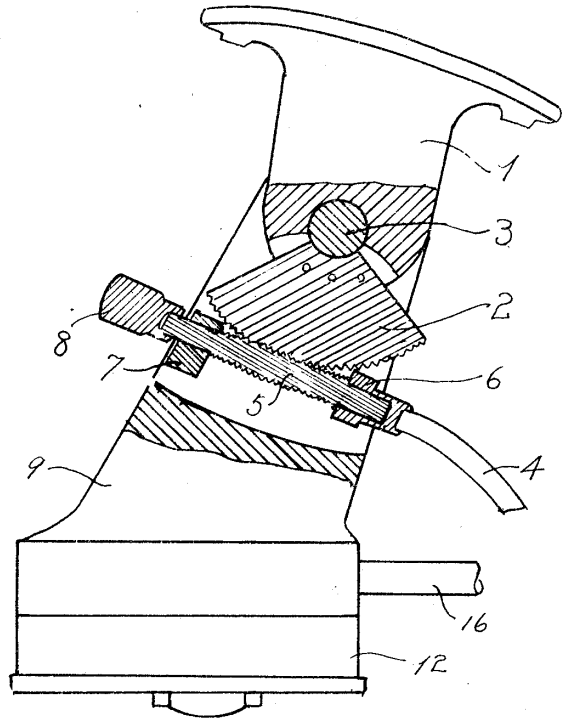
登 録 請 求 の 範 囲

図面に示すように鏡筒取付ベース1を托架9の挟持溝9'内に枢軸3にて枢止し枢軸3に固着した扇形ウオームギヤ2に係脱する仰角微動用ウオーム5又は托架9の底部の膨出空室9''内に設けた水平ウオームギヤ10とこれに嚙合するウオーム13を設けた水平微動軸16を、その一端を軸架し他端には方形の転移メタルを固設してその両側に凹溝20, 21を並列して凹設しこれに挟持杆22の窓孔22'に連設したバネケース17内のばね19により突設された鋼球18を収容支持して転移ハンドルの操作に関連して鋼球18を上下の凹溝20, 21に交互に嵌合してウオームとウオームギヤとを係脱確保するようにした天体望遠鏡の旋回角度微動装置における転動軸の転移装置の構造。

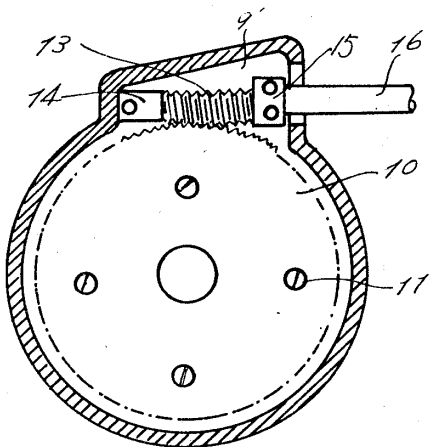
第1図



第2図



第3図



第4図

